

議長定例記者会見 会見録

日時：令和元年8月7日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の挨拶

2 発表事項

○三重県議会インターンシップ実習生の決定について

3 質疑項目

○三重県議会インターンシップ実習生の決定について

○環境生活農林水産常任委員会と議長定例記者会見の日程調整について

○資料提供について

1 冒頭の挨拶

○冒頭の挨拶

（議長）おはようございます。ただいまから8月の議長定例記者会見を始めさせていただきます。発表事項に入ります前に、私の方からまずお詫びを申し上げたいと思います。この定例記者会見が始まる30分前から、今、環境生活農林水産常任委員会が開催をされております。本日の常任委員会では、豚コレラの対応、それから三重県土砂条例（仮称）というですね、まさに県政の喫緊の課題に関しまして開催をするということになりました。それに当たりまして、本来であれば、この定例会見の時間とですね、合わすことの無いように調整をしっかりとしなければならなかったんですが、私の指示不足もありまして、このような形での開催になりますことを、まずもって、県民の皆さま、そして、第一、第二、県政記者クラブの皆さまにお詫び申し上げたいと思います。申し訳ございませんでした。

2 発表事項

○三重県議会インターンシップ実習生の決定について

（議長）それでは、発表事項に入らせていただきます。本日は、三重県議会インターンシップ実習生の決定について発表させていただきます。お手元に配布しました資料をご覧ください。三重県議会インターンシップは、大学院で公共政策に関連する研究を行っている学生を実習生として受け入れまして、実習生の知見を活用した提案や意見を、三重県議会における監視機能の強化や政策立案、政策提言の充実等に生かすとともに、実習生に、地方議会への理解を深め、

今後のキャリア形成につなげていただくために実施するものであります。今年度は、6月7日の「議長定例記者会見」の日から、6月28日まで、実習生の募集を行いまして、このたび、受入れる学生が決定いたしましたので発表させていただきます。三重大学大学院 人文社会科学研究所 社会科学専攻の修士課程2年の光部達哉さんであります。実習期間は、9月13日金曜日から27日金曜日までの、土、日、祝日を除いた9日間となります。実習内容は、「県議会の取組や業務内容の聴き取り」、「委員会及び本会議の傍聴」、「議員との対話や交流を通しての意見発表」などを予定しております。実習生への受入書交付式を、9月13日金曜日14時から、議事堂3階の議長応接室で行いますので、お時間があれば、取材のほう、よろしくお願ひしたいというふうに思います。私のほうからは以上でございます。

3 質疑応答

○三重県議会インターンシップ実習生の決定について

(質問) 幹事社、特にありません。各社どうぞ。

(質問) よろしいでしょうか。発表事項以外も幹事社、特にありません。

○環境生活農林水産常任委員会と議長定例記者会見の日程調整について

(質問) 調整ができなかった今日の委員会と定例記者会見の日程の関係ですけど、どういう経緯で調整ができなかったのかということをお教えいただけますか。

(議長) 私の方からは詳細なことは、この後、局長の方から答えさせますけれども、まずは、この8月7日という定例会見の日程は3カ月前に、県政記者クラブ、第二県政記者クラブの皆さま方と、調整して決めさせていただいていたわけでありまして。その日程を優先しつつ、常任委員会の開催の日時を変更できないかということで、常任委員長のほうとも相談しながら進めていたのですが、委員のメンバーの皆様のご都合等を考えると、本日の午前10時しか開催できないという判断に至りまして、その時点でしっかりと私どもの方から、県政記者クラブ、第二県政記者クラブの皆様と、日程の、定例会見の方の日程変更ですね、そのご相談をさせていただければよかったですけれども、そのあたり、私の指示不足もありまして、このような事態になったかなと思っております。より細かなところについては、湯浅局長のほうから答えさせていただきます。

(事務局長) 議長から説明させていただいたとおりなんですけれども、確かに定例会見の日程が決まっている中で、委員会の日がこちらに入ってしまいまし

たことについては、ルール、委員会委員長並びに委員会委員、それから執行部とも調整した結果であるとはいえ、日程が決まった段階での報道さんへのご相談をさせていただけなかったことについて、大変調整不足であった。そういう意味で調整不足であったと考えています。また、通常委員会の開催日につきましての案内が、通常の2日前の資料提供の日程でしかさせていただけませんでしたことも、配慮が足りなかったと思ひまして、非常に反省をしているところでございます。今後このようなことのないように事前の調整、それから連絡について、十分留意していきたいと思ひますので、どうぞよろしく願ひいたします。

(質問) 相談させていただいた中では、11時半でと云って、第二県政記者クラブが飲まないから10時半でって、第二県政記者クラブの方、来てみえないですよ。どういふことなのかな。

(事務局長) そちらについても、申し訳ありません。第一さんと第二さんの関係につきましては、幹事社さんにおいても、日頃のいつもの会見でも、ご配慮いただいておりますけれども、基本私どもの認識としまして、両クラブの了承がないといけないと思っておりますところで、まず、貴方、第一の幹事社さんに相談した後、第二にご意向を伺ったところです。その中で、第二さんのほうからは、他の執行部の予定もあるし、議長の定例会見が遅れると、また、その他の都合にも影響してくるから反対であるというようなご指摘もいただきましたので、それであれば、重なるのは申し訳ないけれども、当初の予定のままでさせていただこうという判断をしたものです。

(質問) これ以上言わないですけど、てっきり第二県政記者クラブの方が来られるから、そうなったんだと思つたら、そこちゃんと確認されたんですか。来てみえないじゃないですか。

(事務局長) 確かに、いらっしゃいますねという確認はしておりません。申し訳ありません。

○三重県議会インターンシップ実習生の決定について

(質問) 光部さんて、何年何月生まれですか。

(議長) えーとですね、ちょっとお待ちください。何年何月生まれですか。個人情報ということなんですけれども、年齢はですね、24歳です。

(質問) まあ、例えば明日誕生日だったら25になるし、何年何月生まれか聞いてないんですか。そうですか。あと、これ、公共政策大学院以外でもって決めたのは、今年からでしたっけ。

(議長) そうです。はい。

(質問) なんでそうしたんですか。

(議長) 募集がですね、なかなかかけても、応募していただく方が少ないというところもあって、今年度から対象を広げたところなんです。

(質問) 公共政策を学ぶ大学院生に変えたんですか。

(議長) はい。

○資料提供について

(質問) 常々、ちょっと思うところとしては、臨時的に委員会が開かれたりとか、全協も含めてですけれども、やっぱり、こう、報道、県民もそうかもしれませんが、何か開かれる、臨時的に開かれるものについて、情報が入ってくるのが直近というか、ちょっと遅いというか、私たちも当然準備して臨まなければならないので、ということを見ると、もちろん、緊急のものであることは承知しておりますし、迅速にはされているんだと思うんですけれども、認識としてやっぱり、そういった委員会の周知、告知というのが、私らとしては、ちょっと遅いかなと。どういうことかという、委員会は公開で県民も傍聴に来れるわけですから、そこをできるだけ多くの人に傍聴してほしいというふうに思われている県議会としては、そこらへんできるだけ早く、よく周知をした上で望まれると、もちろん緊急性があるということは理解しとるんですが、そこらへんどういうふうにこれから、例えば、先ほども局長ご自身がおっしゃっていただいた資料提供も、迅速性見直さなければいけないとおっしゃっていただいた、どういうふうに見直すかとか、どういうふうな認識を持たれているかというところで、この際なんで、あらためて聞きたいと思います。

(議長) はい。ありがとうございます。まず私のほうからお答えさせていただきますけれども、私ども三重県議会、通年議会制をとっておるということの、強みというか、それがまあ、緊急に、常任委員会なり、全員協議会なり、そういったものを開催できるという、その強みがあるんですけれども、その強みを生かすためには、まさしく今ご指摘いただいたとおりで、突然開催されるものに

については、定例のものは前から皆さん分かっていただけてますし、ホームページにずっと掲載されておりますけれども、本日のように、突然開催されるようなものについては、もう少し、通常の常任委員会の開催の通知とはまた違う形ですね、早目に提供するであるとか、そういった方法も考えていかなければならないなということを感じておりまして、具体的な方法論についてはですね、今後ちょっと詰めさせていただいて、また、県政記者クラブ、第二県政記者クラブの皆さんとも相談した中で、考えてまいりたいなというふうに思っております。

(事務局長) 議長の回答と重なるかもわかりませんが、現在のルール二日前ということにつきましては、その見直しもちょっと弾力的に考えたいと思います。また、確かに議事日程といたしましては、事前の代表者会議なり議会運営委員会なりで審議して決定されるということですので、それ以降であれば、公表は可能かと思っておりますので、その辺また、クラブさんのほうとご相談させていただきながら、見直しに向けて検討していきたいと考えます。

(質問) 見てなくて恐縮なんですけども、フェイスブック立ち上げて周知してますよね。例えば、そういうところで、今回、この委員会、午後からもありますけども、そういうところ周知を図ったとかいうことはないんですか。

(事務局長) フェイスブックの情報は、開催しましたが中心になるんですけども、今回の開催については、周知をしていたということでございます。

(質問) フェイスブックでは掲載していたということですか。

(質問) はい。じゃあ終わります。

(議長) ありがとうございます。

(以 上) 10時45分 終了